



令和7年5月12日

各位

株式会社松屋フーズホールディングス
代表者名 代表取締役社長 瓦葺 一利
(コード番号 9887 東証プライム)
お問合せ先 取締役 中村 洋一
(TEL 0422-38-1121)

令和7年3月期業績予想値と実績値の差異、減損損失の計上に関するお知らせ

令和6年11月5日に公表した令和7年3月期(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和7年3月期の連結業績予想数値と実績値の差異(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	売上高	営業利益 又は営業損失(△)	経常利益 又は経常損失(△)	親会社株主に帰属する 当期純利益 又は当期純損失(△)	1株当たり 当期純利益 又は当期純損失(△)
前回発表予想(A)	百万円 149,500	百万円 3,000	百万円 3,650	百万円 1,200	円 銭 62.95
実績値(B)	154,223	4,406	5,149	2,185	114.67
増減額(B-A)	+4,723	+1,406	+1,499	+985	
増減率(%)	+3.2	+46.9	+41.1	+82.2	
(参考) 前期通期実績 (令和6年3月期)	127,611	5,322	5,978	2,915	153.00

2. 差異が生じた理由

連結売上高は、インバウンドの増加等による経済活動の回復等により、既存店売上高が計画を上回ったこと等により、前回発表予想を上回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高の上昇により固定費の占める割合が低下し、前回発表予想を上回りました。

3. 減損損失の計上について

令和7年3月期会計期間において、当社グループが運営している店舗などの固定資産等の将来の回収可能性を検討し、減損損失 854,445 千円を計上いたしました。

※上記の業績に与える影響については、本日公表の「令和7年3月期決算短信【日本基準】(連結)」に反映しております。

以上